

あの頃には  
出せなかった、  
より深い音を  
いま追求する。

塾高時代に出会った  
バンド仲間が

それぞれの道で  
腕を磨いて、  
再び集まった。  
再会という名の  
新しい出会いだった。



HIROTAKA  
IZUMI  
[Pf.]  
慶應義塾大学法学部法律学  
科卒。1982年フュージョンバ  
ンドTHE SQUAREにキーバ  
ード担当として参加。在籍中  
数多くのヒット曲を作曲、編  
曲。現在はピアノ・ソロ、独  
自のピアノ・トリオを結成し、  
数多くのライブ活動を行なっ  
ている。

塾高から飛び出した3つの才能が、  
時を経て1つになった。

# PYRAMID

ピラミッド

AKIRA  
JINBO  
[Dr.]

’80年、カシオペアでプロデ  
ビューして以来、常に音楽シ  
ーンの最先端を走り続けるト  
ップドラマー。2007年、ニ  
ューズウィーク誌の「世界が尊  
敬する日本人100人」に選出  
される。一人で全てを奏でる  
ワンマンオーケストラとし  
ても活動中。



てくれて。ルーツが同じだとい  
うのは大きいですね。同じよう  
な音楽を聴いて10代の多感な時  
期を過ごして、共通言語みたい  
なものができあがっているの  
で」(神保さん)

「昔、鳥山君がデビュー決まっ  
たよって報告しに来た時の笑顔  
を覚えている。よかったねって言  
いながら、俺は大丈夫かな、音  
楽で食えるかなと思って……そ  
んな若い日を思い出すというか  
一緒に音を出したとたんその  
日に戻った」(和泉さん)

「リタイアした後、最後の楽  
しみでまたバンド始めたと思わ  
れるのは心外なんです。3人  
とも現役だから演った方がいい  
んじゃないって始めたんです。  
別々の道を歩んでも何とな  
くお互いの情報が入ってくるの  
は、一貫教育校ならではのつな  
がりですね」(鳥山さん)

同窓会バンドではない。凄腕  
のプロ3人による現役のスー  
パー・ユニットなのである。

慶應義塾大学商学部卒。1981  
年ソロ・デビューアルバムを  
発表。TBS系「世界遺産」の  
テーマ曲「The Song of Life」  
が代表曲に。また、アレンジ  
ャー、プロデューサーとして  
吉田拓郎、葉加瀬太郎等を始  
め、数多くのアーティストを  
手掛ける。

YUJI  
TORIYAMA  
[Gt.]



「鳥山君が声かけ  
てくれた。ルーツが同じだとい  
うのは大きいですね。同じよう  
な音楽を聴いて10代の多感な時  
期を過ごして、共通言語みたい  
なものができあがっているの  
で」(神保さん)

和泉さんは幼少の頃からピ  
アノを習い、鳥山さんはギタリス  
トの父親の影響で早くからギ  
ターのテクニクを本格的に身  
につけていた。  
「普通、高校生ってキャーキャー  
言われないがために音楽やる  
じゃないですか。神保さんは  
違っていて、一人で家でドラム叩  
いてた。藤井君から神保って  
のがドラム上手いらしいよって  
聞いて」(鳥山さん)

## 和泉宏隆さん(28期)

ピアニスト



ギタリスト  
鳥山雄司さん(29期)

ドラマー  
神保彰さん(28期)



和泉さんは塾高を受験する時、  
慶大生の家庭教師からもらった  
レコードでジャズに目覚めた。

早熟の天才だった鳥山さんは  
塾高在学中からプロとも活動。  
写真は日吉祭でのステージ。



塾高時代の神保さんと、  
話にも出てきた藤井淳平さん。  
茶筒を叩いた修学旅行での一枚。